

令和6年度認定 松阪市子育てにやさしい事業所アンケート調査結果

○目的

市民や地域、従業員に対する子育て支援の取組を積極的に進められている事業所を認定し、その取組内容を広く周知していく認定制度として「松阪市子育てにやさしい事業所認定制度」を令和5年度から実施してきた。

そこで、本制度をより良いものとするために令和6年度に松阪市子育てにやさしい事業所として認定した9事業所を対象に、アンケート調査を実施した。

○調査対象

令和6年度松阪市子育てにやさしい認定事業所 9事業所

○調査期間

令和8年1月28日（水）～2月20日（金）

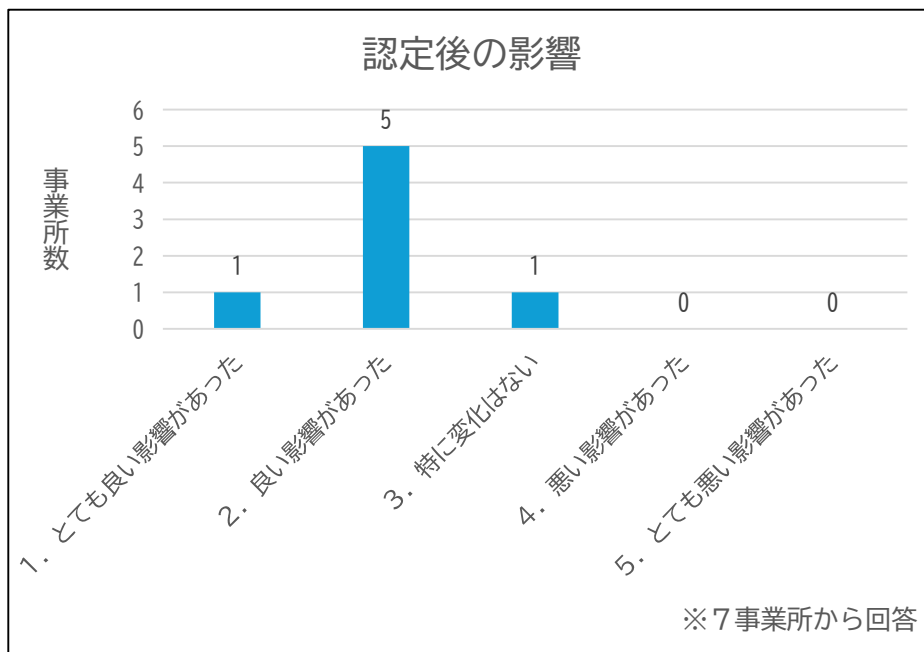
○調査方法

ロゴフォームによる回答方法

○回答結果

7/9事業所（回答率 77.8%）

問1 令和6年度子育てにやさしい事業所の認定を受けて、何か影響がありましたか。



※7事業所の内6事業所が良い影響があったと回答。（85.7%）

問2 問1の回答理由

- ・対外的に「子育てに配慮する企業である」という姿勢を示す一つの指標となり、企業イメージの向上につながっている。直接的な大きな変化があったというよりは、継続的な取組みを後押しするきっかけになっている。
- ・みえの働き方改革推進企業申請時に活用できた。
- ・社員の方に興味を持ってもらった。また子ども安全・安心の店に登録したことで関心を持ってもらうことができた。
- ・医院としての姿勢を示すことができる。

問3 子育てにやさしい事業所として認定され、現行の特典以外にあればいいものは？

- ・市内イベントや合同説明会等での優先的な紹介機会、市広報やSNS等での定期的な事例紹介、認定企業同士の情報交換会や交流の場の提供。特に、他社の具体的な取組事例を共有できる機会があると、実践の参考になると感じている。

- ・市として定期的に広報してほしい。

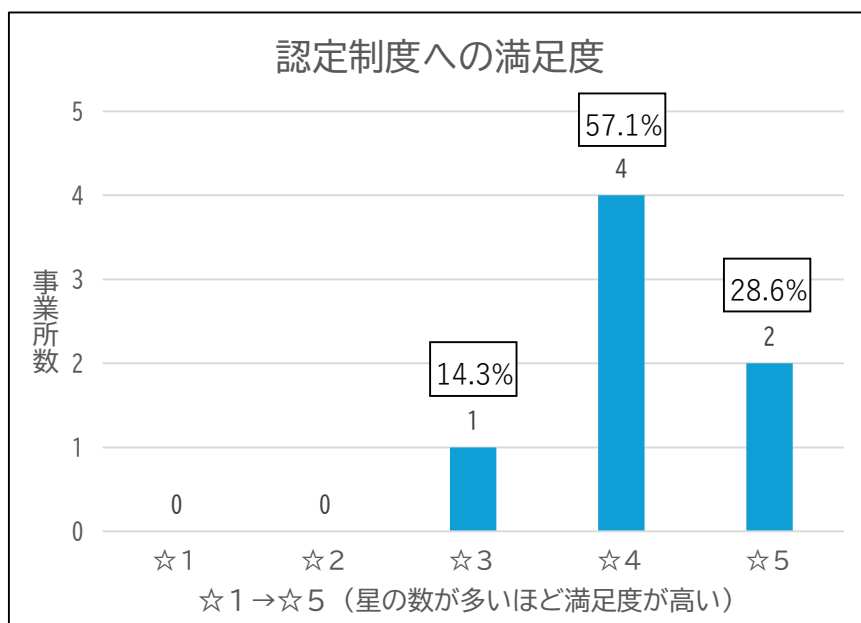
問4 子育てにやさしい事業所として活動するうえで、課題に感じていることは？

- ・制度の認知度がさらに高まると、より効果を実感しやすくなるのではないかと思う。

- ・建設業という職業柄、男性社員が多く、取組分野「子育て家庭にやさしい」では該当箇所が無かった。建設業と子育て家庭となかなか接点をもてない事が課題。

- ・従業員の働き方との両立

問5 子育てにやさしい事業所認定制度への満足度



※「☆4」が57.1%と最も高く、次いで「☆5」が28.6%、「☆3」が14.3%の順で、☆1 ☆2は選ばれていません。

問6 松阪市の子育て施策への提案や意見

- ・子育て支援に積極的に取り組む企業の事例を、より広く発信していただくと、市全体の機運向上につながると感じる。また、企業と行政が情報共有できる場や、実務的な支援制度（助成・相談体制など）がさらに充実すると、企業側も取り組みを一層推進しやすくなると考えられる。

- ・まだまだできることがあると思う。市内に公園を増やしてほしい。